

看護のプロフェッショナリズムを共有するワークショップ NEWS LETTER

第15回 ワークショップの開催報告

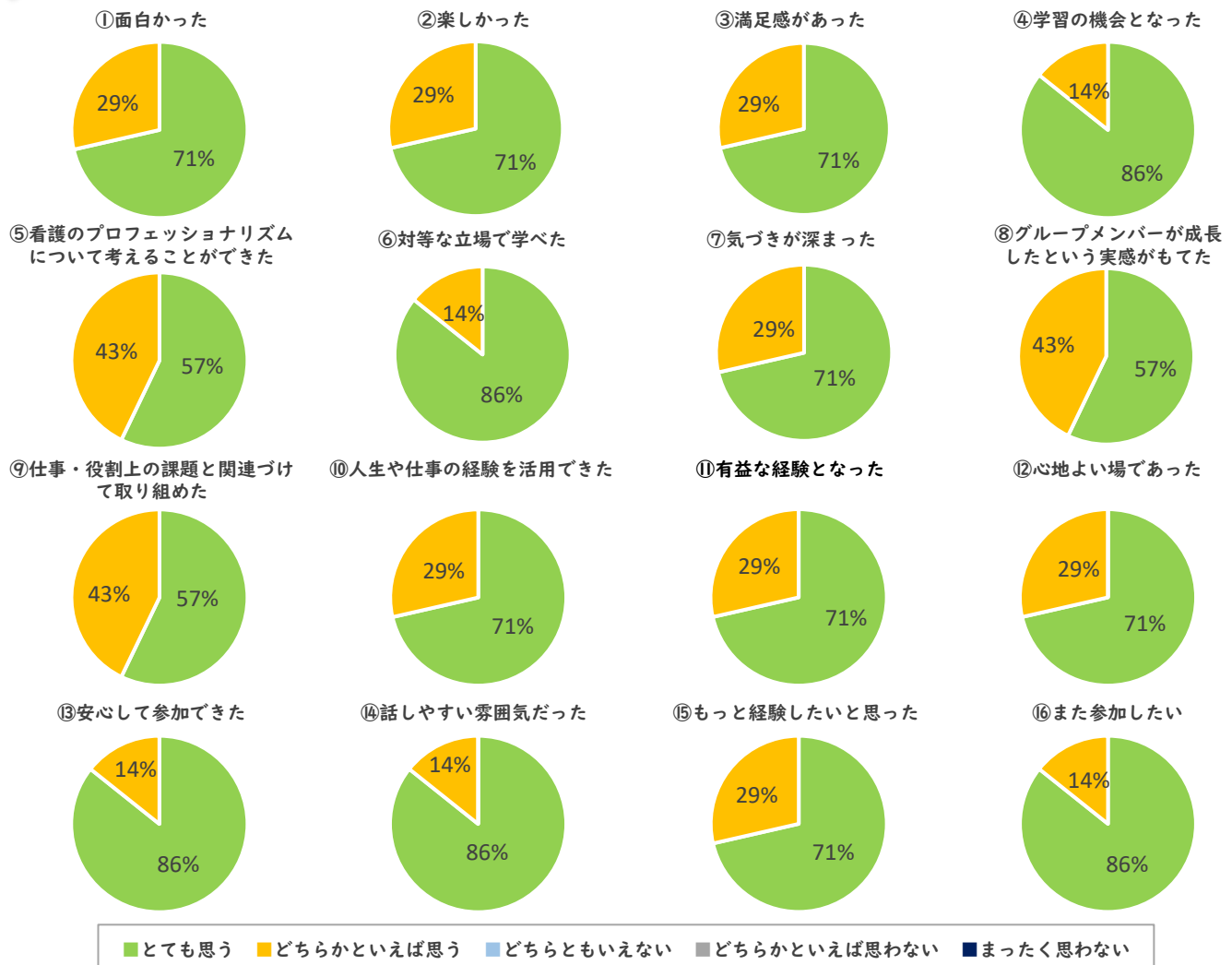
第15回は、横浜市立大学のエクステンション講座（第3回）として、「ワークショップで仲間とともに看護の未来を語ろう」というテーマで開催させていただきました。今回はとくに、看護学生さんの経験談から沢山の気づきをいただきました。アンケートでは、8割の方が「学習の機会となった」「対等な立場で学べた」などと回答してくださいました。

主催者代表 佐藤 政枝

開催日時：2023年8月7日（水）13:00-15:00

参加者：9名（看護職、看護大学生、大学教員、大学院生）

●ワークショップ後のアンケート結果（一部抜粋） 回答7名



自由記載で頂いた感想やご意見

- ・ 教員からの意見をたくさん聞いて、看護への捉え方がたくさんあること、必ずしも看護専門職者が同じ思考回路ではないことを改めて気付かされました。同時に、自分の中で看護の捉えかたの選択肢が増えました
- ・ 今ある看護を大切に共に育て分かち合うことが未来につながると感じました。専門職業人としての看護はどうあるべきか、チームで協働する上で看護の役割や存在意義を示し、そこにやりがいを見出せる支援が出来るように学んでいきたいです
- ・ 先生方と沢山のことをお話することが出来て良かったです。これまでの経験から得たことをまた一度時間を置いてから言語化することが出来て自分の学びも大きかったです
- ・ 学生さんを含めて様々な方と話をすることで自分を俯瞰するきっかけを頂きました。いつも顔を合わせているけれど、このような機会でないとなかなか話せないこともあることを実感し、語る場を意図的に作ることは大切だと感じました
- ・ 未来を作るのは学生や新人だけでなく、全ての看護職になるので、まずは大事にしたい看護をもてるように、そしてその看護を実践し、認め合える環境が必要になると感じました